

右馬允だより

265-

卯月の前半の週始めは雨続きで寒く、とんとん開いていく桜に少々心配しつつ

26日と18日の桜祭りを楽しみにおりました。予定お天気に恵まれ桜の風吹けば花吹雪。その流れるような美しい花の様に酔いしれながら桜湯をふるおた大鹿村婦人部の面々でした。20日も過ぎて夏のような陽気に桜は続々花柄もすでに花がらなり大鹿村の空間に美しく舞っております。時の移ろいは目まぐるしいです。今は足元のスミレの花。インレイ草、ナツメ草、二輪草、サクランボなどの可愛らしく静かに咲いています。夜空の月は半月を過ぎた頃。……美味しい鎌倉の半月のお菓子を思い出します。

李花の祭り(4月2日)今年も又美か舞い奉納(お正月に舞ったお舞い)

琵琶湖一周歩き歩きの旅<その三>

雨降る中2日間(4月13日-14日)をR01, R02に及ぶ嵯峨街道、左手に琵琶湖の中に頭と出す竹生島を見つ幸いにも包みながら歩く二日間の行程でした。今回は右馬允の大切なお客様、山佐代子様も参加され全26kmを完歩され私たちの励みや対応となりました。(昭和22年生れの亥年のことわりを交さんです)右端が弘子さん(清次さんの姓)とよ川太さんのお手紙を17下りり今回も輝ける人となりました。



<女性参加は4人 男性は清次さんと正のあ反達のお二計7人でした。正は長男允の首領揃御術の為と存じました

次回は11月と申、行く遠い事ですが、人の身体はくらっていくもの。元気が今を十分に楽しんでいきたいものと思っております。旅はいいものだ。松永伍一さんが言っていたこと。旅をして感性が高くなるよと。……今しっかりと思い出します。